

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標

- 子ども一人ひとりとていねいに向き合いながら、まちとともに歩む学校にします。
- ・わかる楽しさ、できる喜びを感じられる授業づくりを進め、主体的に学んだり、考えを深めたりする力を伸ばします。
 - ・一人ひとりが自己有用感をもち、お互いを大切にしながら楽しく学校生活が送れるようにします。
 - ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。
 - ・まちの「人」とのつながりを意識し、豊かなコミュニケーションや体験活動を通して、まちを愛する心を育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

| 重点取組分野 | | 具体的取組 |
|--------|----------|---|
| 豊かな心 | | ①道徳的価値について自分事として考えたり、話し合ったりすることで、理解を深めるような道徳科の授業の充実を図る。②たてわり班での活動を毎月設定し、様々な人との豊かなかかわり合いを通して、相手のことを尊重したり、思いやったりしながらともに生きていこうとする態度を育てる。 |
| 担当 | 人権ふれあい部会 | |

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

- ・本校では、「伝い合い学び合える児童の育成」に向けて研究を進めてきた成果もあり、学習の中では、話したり聞いたりする活動が好きだと答える児童が多い。しかし、日常の学校生活の中で、自分から進んで挨拶したり、人とかかわったりすることにやや消極的な傾向が見られる。人の気持ちを考えて行動していると考えている児童の割合も少ない。
- ・地域からの協力も得られ、地域行事や学校行事も盛んで、物事を最後までやり遂げてうれしかったことがあると考える児童が多い反面、自己肯定感もてないでいる児童の割合も多い。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・全学級の「特別の教科 道徳」の授業を、家庭・地域に向けて年に1回以上公開する。
- ・学級懇談会・学年懇談会などで、道徳教育や「特別の教科 道徳」の時間について話題にし、家庭と共通理解、連携を図って指導にあたる。
- ・道徳掲示板を設置・活用し、「特別の教科 道徳」の学習について、家庭・地域に発信するとともに、学校内での互いの取り組みを知り合うことで、「特別の教科 道徳」の充実を図る。
- ・道徳科以外の学習の中でも、道徳的価値のある学習活動の充実を図る。

【項目 体験活動の充実】集団活動を通してよりよい人間関係を築いていこうとする態度の育成

- ・たてわりの「異学年交流活動」を行うことで、グループ内で互いを思いやる気持ちや協力しようとする気持ち、積極的に他者とかわる力を育て、発達段階に応じた心の成長を育む。
- ・生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設けたり、子どもが、地域の行事や子ども会などの「異学年集団活動」「豊かな自然や文化に触れる活動」などに参加する機会をもつことができるよう、地域に協力を要請するとともに、学校側も積極的にそれらに参加・協力したりする。